## 岩手県教育委員会障がい者活躍推進計画の実施状況

令 和 5 年 9 月岩手県教育委員会事務局教 職 員 課

評	価年度	令和4年度			
▶ 目標に対する達成度					
		目標	目標値	実績値	
1	採用に関する目標	実雇用率が、各年6月 1日時点の法定雇用率 (2.5%)を満たす採用 数の確保	223. 0 人 (2. 50%)	224. 5 人 (2. 52%)	
		目標	目標値	実績値	
2	定着に関する目標	不本意な離職者を極力 生じさせない	_	評価時点において 不本意な離職は生 じていない(令和4 年度新採用職員の 定着率:100%)	
		目標	目標値	実績値	
3	満足度に関する目標	障がいのある職員が仕事にやりがいを感じ、 活き活きと働くことが できているか等を把握 するための面談の実施	年1回以上	全ての所属で面記等を実施している (育児休業等を明得している職員を 除く)	
取;	取組内容の実施状況				
1.	. 障がい者の活躍を推進する体制整備				
	(1) 組織面	<ul> <li>○ 障がい者の雇用の促進及び安定を図るため、障がい者雇用推進者として、教育局長を選任した。</li> <li>○ 「障がいに配慮した選考」による教員採用の拡充に向けて、各人事担当が連携して取り組んだ。</li> <li>○ 障がいのある職員が5名以上勤務する雇用保険対象事業所ごとに、「障害者職業生活相談員」を選任した。</li> <li>○ 教育委員会事務局の各室課に相談窓口及び相談員を設置するとともに、全ての所属に周知した。</li> </ul>			
	<ul> <li>(2) 人材面</li> <li>○ 「障害者職業生活相談員」全員が、岩手る資格認定講習を受講した。</li> <li>○ 「障がい者雇用促進ハンドブック」を全がいの特性や障がい者への業務支援の方知を図った。</li> <li>○ 各種会議や学校訪問の機会を通じて、障害な理解の促進を図った。</li> </ul>			を全所属に配付し、 の方法等について原	

○ 障がいのある職員との面談等を通じて、体調への配慮等の要望を把握し、体調や障

○ 障がいのある新採用職員の配置先の検討時や、異動に係る人事ヒアリングにおいて、

がい特性に応じて職務を選定できるよう、必要に応じて検討している。

業務との適切なマッチング等ができているかの点検と検討を行っている。

2. 障がい者の活躍の基本となる職務の選定・創出

3.	障がい者の活躍を推進するための環境整備・人事管理			
	(1)	職務環境	○ 障がいのある職員との面談等を通じて、体調への配慮等	
			の要望を把握し、障がいの特性に応じた職務環境の整備に	
			努めた。	
			○ 職場における動線や駐車場の確保等を行い、働きやすい	
			職務環境の整備に努めた。	
	(2)	募集・採用	○ 障がい者の採用選考に当たっては、障がい特性や受験者	
			からの要望を踏まえ、障がいに配慮した選考を行っている。	
			○ 特定の障がいを排除するなどの不適切な取扱いは行って	
			いない。	
			○ 障がい者の会計年度任用職員としての採用や障がいの特	
			性に応じた事務分担の見直し等により、障がいのある職員	
			が能力を十分に発揮し、業務を遂行できるよう職務の選定	
			及び創出を行っている。	
			○ 特別支援学校の生徒等を対象とした就業体験実習を実施	
			した。	
			○ 障がいのある者を県立学校校務補助員(会計年度任用職員)	
			として任用した。	
	(3)	働き方	○ 各種休暇等の制度について、掲示板等で周知を図るとと	
			もに、通院等に応じた休暇取得ができるよう配慮している。	
	(4)	キャリア形成	○ 研修を実施する際は、障がいのある職員の障がい特性に	
			配慮している。	
			○ 障がいのある職員との面談等を通じて、研修の受講やキ	
			ャリア形成に向けたアドバイス等を行うなどの支援を行っ	
			ている。	
	(5)	その他の人事管理	○ 障がいのある職員との面談等を通じて、体調への配慮等	
			の要望を把握し、体調や障がい特性に応じた措置を講じて	
			いる。	
			○ 在職中に疾病、事故等により障がい者となった職員につ	
			いて、円滑な職場復帰、就労継続等のために必要な職務選	
			定、職務環境の整備等の必要な配慮を行っている。	
$\overline{4}$ .	その	他		

## 4. その他

○ 県全体で障害者就労施設等からの優先調達の推進に取り組んでおり、教育委員会に おいても、障害者就労施設等からの物品等の調達の促進に努めている。